

決 議

安倍政権は、医療保険制度改革関連法案を十分な審議もないまま成立させ、さらなる負担を国民に求め、社会保障費・医療費抑制政策を断行している。

さらに保険外併用療養費制度拡大、国家戦略特区、地域医療連携推進法人制度、TPP参加等、医療への市場原理主義導入は、国民皆保険制度を空洞化させ、医療の崩壊に繋がる。

我々医師は、国民の生命と健康を守るため、左記の事項を決議する。

記

- 一、いつでも、どこでも、誰もが安心して医療を受けられる「国民皆保険制度」を断固として堅持せよ。
- 一、混合診療の全面解禁につながる保険外併用療養費制度の拡大は容認できない。
- 一、医療に係る消費税問題を抜本的に解決せよ。
- 一、医療機関と医療者が安心して医療を提供できるような医療事故調査制度、地域医療構想にせよ。
- 一、受診抑制による健康への悪影響を来たさぬよう患者自己負担を軽減せよ。
- 一、医療の格差拡大、営利産業化につながる国家戦略特区、地域医療連携推進法人制度、TPP参加に反対する。

平成二十七年六月六日

第一一九回札幌市医師会定時代議員会